

2019.

11.21

18:30 開演
(18:00 開場) **木**

バロック・オペラ J. B. シュタウト作曲

勇敢な婦人

J. B. Staudt: *Mulier Fortis* - 細川ガラシャ

指揮・音楽監督 |

インゴマー・ライナー
(ウィーン国立音楽大学教授)

Ingomar Rainer

Professor at University of Music and Performing Arts Vienna

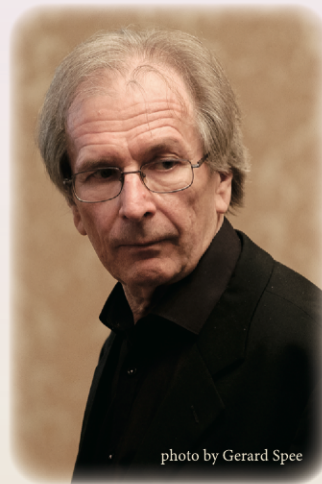


photo by Gerard Spee

出演 |

佐々木 涼輔 (テノール)
Ryosuke Sasaki (Tenor)

内山 歌寿美 (ソプラノ)
Kasumi Uchiyama (Soprano)

松尾 咲 (ソプラノ)
Saki Matsuo (Soprano)

パトリシア・ノルツ (アルト)
Patricia Nolz (Alto)

アレクサンダー・シモン・アイグナー (バリトン)
Alexander Simon Aigner (Baritone)

リカルド・ボホケス・マルティネス (バス)
Ricardo Bojorquez Martinez (Bass)

演奏 |

京都市立芸術大学選抜オーケストラ
Kyoto City University of Arts Chamber Orchestra

コンサートミストレス
ジョセリン・ライナー (ウィーン国立音楽大学講師)

Jocelyne Rainer (Concertmistress)
Lecturer at University of Music and Performing Arts Vienna

出口 実紀 (笙)
Miki Deguchi (Shō)

Program

J. B. Staudt: *Mulier Fortis*
Karlheinz Essl: *Constantia*
Georg Muffat: *Cor vigilans* 他

- ◆バロック・オペラ「Mulier Fortis 勇敢な貴婦人—細川ガラシャ」は演奏会形式で行います。
- ◆公演内容は予告なく変更する場合があります。

入場無料 | 先着 120名 | 全自由席

当日の15:00から整理券を配布します。

先着順(定員に達し次第終了)

場 所: 別館ホール入口前 (中庭に面しているところ)

このたび、日本・オーストリア国交樹立150周年を記念して、細川ガラシャをモデルとしたオペラ『Mulier Fortis (勇敢な婦人)』を、ウィーン・京都の両地で上演いたします。

両地で研鑽を積む、ウィーン国立音楽大学・京都市立芸術大学の選抜メンバーによるプログラムをご堪能ください。

会場

京都文化博物館
別館ホール 京都市中京区三条高倉

- 地下鉄「烏丸御池駅」下車、5番出口から三条通を東へ徒歩3分
- 公共交通機関をご利用の上お越しください。

